

## 12月3日～9日は障害者週間です

「障害者週間」は、障がい福祉への関心と理解を深め、障がいのある方が社会・経済・文化などあらゆる分野の活動に積極的に参加できる社会を実現することを目的に制定されました。

障がいのある人もない人も、共に支え合う共生社会を実現していくためには、一人一人が障がいについて正しく理解することが大切です。

### 「行田市障がい者差別解消推進条例」をご存じですか

市では、障害者差別解消法などの趣旨を踏まえ、障がいを理由とする差別を解消し、全ての人が互いを尊重しながら暮らせる共生社会の実現に資することを目的に、令和5年にこの条例を制定しました。

#### ▶条例のポイント

##### (1)不当な差別的取扱いの禁止

障がいを理由として、障がいのある人に対して差別的なふるまいをしたり、正当な理由なく、サービスの提供の拒否や制限をしたりするような行為をしてはいけません。

##### (2)合理的配慮の提供の義務

社会の中には、障がいのある方にとって生活の妨げになる設備や制度など(社会的障壁)があります。障がいのある方が「こうしてほしい」と伝えたときは、市や事業者などはよく話し合い、無理のない範囲で対応する必要があります。

##### (3)障がいを理由とする差別に関する相談、紛争の防止などの体制の整備

###### ・相談への受付対応

障がいのある人やその家族、関係者、事業者などは、市内で発生した障がいを理由とする差別があったとき、福祉課に相談することができます。市では、必要に応じて事実確認や調査などを行います。

###### ・あっせんの申し立て

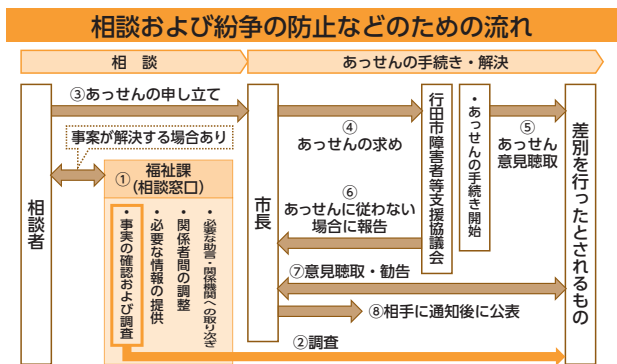
障がいのある市民、家族などは、市長に対し、相談後に問題解決のための必要なあっせんを申し立てることができます。申し立ては福祉課で受け付けています。

###### ・あっせん

市長は、行田市障害者等支援協議会にあっせんを行うよう求めることができ、行田市障害者等支援協議会はあっせんのため、必要に応じて関係者に出席を求め、意見聴取や資料の提出を求めることができます。

###### ・勧告および公表

市長は、あっせん案に従わない者に勧告することができ、正当な理由なく従わないときは公表することができます。その際は、事前に相手方にその旨を通知し、意見を述べる機会を設けます。



### 福祉的就労で作ったパンやクッキーなどの食品などを販売しています

福祉的就労は、障がいのある人が障がい福祉サービス事業所や作業所などでパンやクッキーなどの食品、雑貨などの製品を作ったり、清掃、除草や軽作業などに従事したりすることで、障がいのある人の自立を支援する他、障がいのある人の社会参加を促進しています。

作られたパンやクッキーなどの食品などは、市役所本庁舎ロビー(各種障害福祉サービス事業所など)や教育文化センター「みらい」内(福祉の店「きゃんぱす」)でも販売しています。

#### ▶問い合わせ 同課障がい福祉担当(内線258・265・266)

がありますが、ご了承ください。

- ・特定健康診査と市の補助を受ける人間ドック(併診ドック)の両方を受診することはできません。

### 職場で健診を受診した方へ

国民健康保険加入中の方で、職場健診の受診結果を提供していただいた方に、商品券を差し上げています。ただし、市の特定健康診査と同じ検査項目(身体測定値、腹囲、血圧、血液検査、尿検査など)を含んでいるものに限ります。令和7年度内に受診した場合、健診結果、国民健康保険資格確認書またはマイナンバーカード、特定健診受診券を健康課へお持ちください。

#### ▶問い合わせ 同課(内線361～364)

## つどいの広場の実施場所が一部変更になります

市では、おおむね3歳未満のお子さんとその保護者が自由に遊び、他の親子と交流できる施設として、つどいの広場を市内5カ所に開設しています。

次の期間、実施場所などが変更となりますので、ご利用の際はご注意ください。

▶**変更期間** 12月23日(火)～1月8日(木)※12月29日(月)～1月3日(土)は休み

#### ▶変更期間中に実施するつどいの広場

名 称	所在地	開設日時	電話番号
はすのこ	児童センター内	月・火、木～土曜日 午前10時～午後3時	553—2108
みなみかわら	老人福祉センター 南河原荘隣	月～土曜日 午前9時～午後2時	557—0977
さきたま	埼玉保育園 (埼玉4595—1)	火・水・木曜日 午前9時～午後2時	559—2433 (変更期間中のみ)

※変更期間中は、つどいの広場「さくら」、「ひがし」では実施しません。

▶**その他** つどいの広場「さきたま」は、午前9時～正午は保育室・園庭開放、正午～午後2時は子育て相談(電話・面接)です。※面接は要予約

▶**問い合わせ** 子ども未来課子ども・子育て担当(内線297)

## 医療費助成事業の受給資格登録申請はお済みですか

事業名	対 象	助成内容	手続きに必要なもの
子ども医療費助成事業	市内に住所を有し、健康保険に加入している18歳に達する日以後最初の3月31日までの子ども	医療費の一部負担金および入院時の食事療養標準負担額	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険資格情報が分かるもの ※健康保険証(子どもの名前が記載されているもの)、資格確認書、マイナポータル資格確認画面など</li> <li>※出生の場合は、保険資格が分かるものができるまで日数がかかりますので、先に登録申請をしてください。後日、保険資格が分かるものができたら持参してください。</li> <li>保護者名義の預金通帳</li> <li>個人番号カード、または通知カードおよび運転免許証などの顔写真付きの公的な証明書 ※代理人が申請する場合はあらかじめご連絡ください。</li> </ul>
重度心身障害者医療費助成事業	①65歳未満で、次の要件に該当する心身障害のある方 <ul style="list-style-type: none"> <li>身体障害者手帳1級～3級の方</li> <li>療育手帳A・A・Bの方</li> <li>精神障害者保健福祉手帳1級の方</li> </ul> ②65歳未満で後期高齢者医療制度の障害認定を受けられる状態にあった方で、65歳以上になって埼玉県後期高齢者医療広域連合などの障害認定を受けた方           ③65歳に達する誕生日までに精神障害者保健福祉手帳2級を所持している方(自立支援医療(精神通院医療)が適用された医療費のうち受給者本人の自己負担分のみが助成対象となります) ※令和8年4月以降の医療費分からとなります。	医療費の一部負担金	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者手帳</li> <li>保険資格情報が分かるもの ※健康保険証、資格確認書、マイナポータル資格確認画面など</li> <li>預金通帳</li> <li>個人番号カード、または通知カードおよび運転免許証などの顔写真付きの公的な証明書</li> </ul>
ひとり親家庭等医療費助成事業	母子家庭、父子家庭、養育者家庭、父または母に一定の障害のある親と子(子どもが18歳に達する日以後最初の3月31日まで。ただし、子どもに一定の障害がある場合は20歳の誕生日の前日まで) ※所得制限により支給停止となる場合があります。	医療費の一部負担金(市民税課税の場合、自己負担金あり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険資格情報が分かるもの ※健康保険証、資格確認書、マイナポータル資格確認画面など</li> <li>預金通帳</li> <li>個人番号カード、または通知カードおよび運転免許証などの顔写真付きの公的な証明書</li> </ul>

#### ▶受給資格の始期

原則申請日。ただし、出生や転入の日から15日以内に申請があった場合には出生日や転入日が始期になるなどの特例があります。

※年末年始(12月29日(月)～令和8年1月4日(日))に出生届や転入届を提出される方で、出生日から15日目が年末年始の閉庁日である場合、出生日にさかのぼれる申請日は12月28日(日)のみとなります。12月28日(日)を過ぎてしまつと、申請日以降の医療費のみの助成となりますので、ご注意ください。

#### ▶医療費助成できないもの

- ・日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」に該当するもの
- ・保険外(予防接種、定期健診など)および他の制度(公費負担医療など)に該当するもの  
※加入している保険組合などで支給される高額療養費・付加給付金があるときは、その額を差し引いて支給します。

#### ▶問い合わせ 重度心身障害者医療費助成事業については福祉課(内線258)

子ども医療・ひとり親家庭等医療費助成事業については子ども未来課(内線292・297)

## 国民健康保険に加入中で特定健診がお済みでない方へ 委託事業所から電話による受診勧奨を実施します

市では6月から特定健康診査(特定健診)を実施しています。受診率は年々向上していますが、まだ低い状況です。そのため、受診率向上対策として、受診済みであることが確認できない方に対して電話による受診勧奨を実施しています。なお、架電は市が委託した事業所が行います。

▶**実施期間** 12月1日(月)～26日(金)午前9時30分～午後7時※土・日曜日実施

▶**委託事業所** HARVEY株式会社東京支店

▶**電話番号** 0120—401—960

#### ▶その他

- ・電話の際、口座番号を聞くことや金銭の振り込みなどを依頼することは絶対にありません。
- ・すでに受診済みまたは行田市の国民健康保険の被保険者でなくなった方は、行き違いが生じる場合